

製品名: カルシトニンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07850**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	16kDa

抗原情報

遺伝子名	CALCA CALC1
別名	Calcitonin [Cleaved into: Calcitonin; Katalcalcin (Calcitonin carboxyl-terminal peptide;CCP;PDN-21)]
遺伝子 ID	796.0
SwissProt ID	P01258
免疫原	アミノ酸範囲: 80~141 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

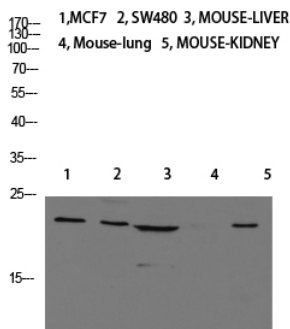
背景

機能: カルシトニンは、骨へのカルシウムとリン酸の取り込みを促進することにより、血中のカルシウムとリン酸の濃度を急速かつ

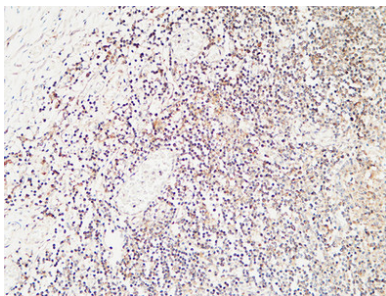
短期間で低下させます。機能: CGRP は血管拡張を誘導します。冠状動脈、脳血管、全身血管を含む様々な血管を拡張します。中枢神経系に豊富に存在することから、神経伝達物質または神経調節物質としての役割を果たしていることも示唆されています。また、血小板 cAMP 濃度も上昇させます。機能: カタカルシンは、強力な血漿カルシウム低下ペプチドです。、オンライン情報: カルシトニンのエントリ、類似性: カルシトニンファミリーに属します。機能: カルシトニンは、骨へのカルシウムとリン酸の取り込みを促進することにより、血中のカルシウムとリン酸の濃度を急速かつ短期間で低下させます。機能: CGRP は血管拡張を誘導します。冠状動脈、脳血管、全身血管を含む様々な血管を拡張します。中枢神経系におけるその豊富な存在は、神経伝達物質または神経調節物質としての役割を示唆しています。また、血小板 cAMP を上昇させます。機能: カタカルシンは強力な血漿カルシウム低下ペプチドです。、オンライン情報: カルシトニンの項目、類似性: カルシトニンファミリーに属します。、

研究分野

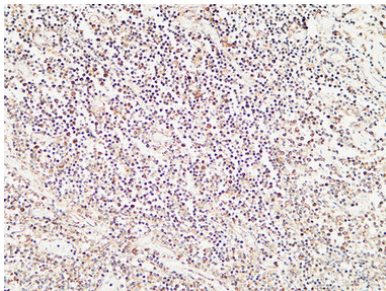
画像データ



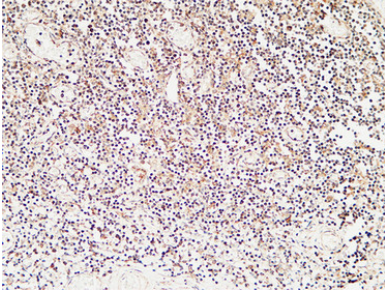
Jurkat U937 Raji マウス眼溶解液のウェスタンブロット分析。抗体は 1000 倍希釈。二次抗体は 1:20000 倍希釈。



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。